

国際社会学部

近田亮平

Konta Ryohei

地域社会研究コース／ラテンアメリカ地域
ブラジル地域研究、社会学

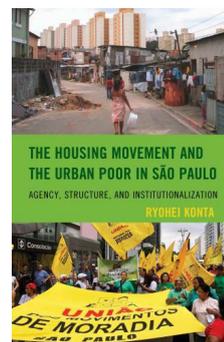
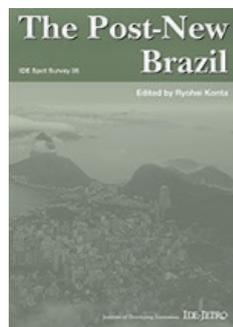


日本から遠くて遠いブラジル・ラテンアメリカを学ぶ

日本からラテンアメリカは地理的に遠く、特にブラジルは地球の反対側に位置しています。また日本では、ラテンアメリカやブラジルに関してニュースであまり報じられず、日常的に見たり触れたりする機会も少ないため、知識や意識の面でも遠いといえます。このように“遠くて遠い”ラテンアメリカですが、日本人が多く移民した現地には世界最大の日系社会があり、日本にも多くのラテンアメリカ出身の日系の人々が暮らしています。ブラジルに関しては、自由や民主主義などの価値観を日本と共有していて、日本の移民や文化の影響から大変親日的な国です。遠くて遠い国や地域を学ぶことで、遠いけれど“近い”ところについても私たちは知り、世界の見方を広げることができるでしょう。

研究紹介

本学OBである私は、ブラジルの動向、および、同国が抱える様々な社会問題 (social issues) について研究を行っています。ブラジルは21世紀のはじめに目覚ましい発展を遂げた後、政治経済社会的に混乱の時期を迎えました。このような近年のブラジルの変化について、地域研究の視点から社会分野を中心に政治経済などを分析し、研究成果を発信してきました。ブラジルの社会問題に関しては、個人的に強い関心を抱いている都市の貧困に焦点を当て、住宅・スラム、社会運動、貧困層の政治参加やエンパワメント、高齢者、人種、ジェンダー・LGBT、宗教、治安、移民などについて研究しています。



担当授業

- ブラジル研究入門
- ブラジル・ポルトガル語読解
- ラテンアメリカ社会研究
- 現代ブラジル研究演習
- ラテンアメリカ地域研究卒論演習

関連する分野

- ブラジル地域研究
- 社会学
- 社会問題 (social issues)

出版物

- 転換期となった『躍動するブラジル』から10年—変化と方向性を中心に
- ブラジル・サンパウロの外国移民と新たな治安対策
- The Housing Movement and the Urban Poor in São Paulo: Agency, Structure, and Institutionalization
- Participação nos Movimentos de Moradia em São Paulo: Agência, Estrutura e Institucionalização
- ブラジルにおける国家とキリスト教団体の関係—福音派の台頭と政治化する社会問題
- The Post-New Brazil
- 躍動するブラジル—新しい変容と挑戦

国際社会学部

ラテンアメリカ・ブラジル地域研究ゼミ



どのようなゼミか

本ゼミでは、ブラジルをはじめとするラテンアメリカ諸国を主な対象として、現地の社会に存在する問題・イシュー（social issues）について、学び考えることを目的としています。基本とする学問的な専門分野は社会学ですが、政治学や経済学など他の専門分野をベースにすることも可能です。学生自身が関心のある社会問題について、有効と思われる理論的枠組みや分析手法を用いて追究を試みます。

ゼミで取り上げる国や地域はブラジルとラテンアメリカですが、関心を持つ社会問題・イシューを考察する際、学生自身が対象とする国や地域はラテンアメリカ以外でも可能です。ですので、他地域専攻の学生も歓迎します。学生が専攻する国や地域における社会問題を分析するとともに、それらとの比較から日本の社会についても考える機会とします。

ミクロな帰納法から見る社会の構造や変化

私は、ブラジルやラテンアメリカにおける様々なテーマの社会問題を取り上げ、主にフィールド調査をもとに、社会の構造や変化について研究しています。特定のテーマに関してミクロなレベルの事象（issues）を分析し、それらに共通する点などを見出すことで、マクロなレベルである社会の構造や変化を追究しています。このような研究アプローチを「帰納法」といいます。私は今までの研究において、主に「社会運動」を通して、ブラジルの社会をはじめ、政治経済や文化などの構造的変化を見てきました。

本ゼミでは、このような帰納法を主に用いて、各自が関心を持つ社会問題を取り上げ、自身が専攻する国や地域の構造や変化について研究します。フィールドワークを重視する地域研究をベースとして、参加者は本ゼミを通じて、対象国に関する調査研究を行う時はもちろん、日本での日々の生活においても、観察する意識や考察する能力を高めることを目指しています。

卒論

- 2025年開講なので、まだ卒論は出ていません。

おススメの本

- 田村梨花・三田千代子・拝野寿美子・渡会環 共編『ブラジルの人と社会 [改訂版]』
- 宇佐見耕一 編著『ラテンアメリカと国際人権レジーム—先住民・移民・女性・高齢者の人権はいかに守られるのか?』
- 畑恵子・浦部浩之 編著『ラテンアメリカ 地球規模課題の実践』
- 宇佐見耕一 編『新世界の社会福祉 第10巻 中南米』旬報社
- 堀坂浩太郎・子安昭子・竹下幸治郎『現代ブラジル論—危機の実相と対応力』
- 松久玲子 編著『国境を越えるラテンアメリカの女性たち—ジェンダーの視点から見た国際労働移動の諸相』